

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 41
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	荒浜小学校校舎震災遺構保存及び防災教育活用事業
全体事業費	210,400 (千円)

<概要>
 本事業は、東日本大震災による津波の脅威や教訓を後世に伝え、再び津波による犠牲を出さないようにするため、荒浜小学校校舎の震災遺構保存整備と合わせ、震災前後の荒浜地区の様子や震災当時の避難の様子、津波の脅威などに関するパネル等の展示により防災教育への活用を図るものである。
 なお、保存整備にあたっては、被災した校舎のありのままの姿を見せることを目的とし、極力手を加えない保存・活用をしていくことを基本とする。

(基本コンセプト)
 1. 現物の見学により、津波の脅威を実感する施設
 2. 屋上からの眺望により、津波避難施設の必要性、かさ上げ道路や海岸堤防、避難の丘等の津波防御などについて学ぶ施設
 3. 教室の一部を展示スペースとして活用し、震災当時の様子や、被災前後の荒浜地区(移転促進区域)の様子などを後世に伝える施設

(整備内容)
 屋上、校舎の一部への立入りを前提に、見学者の安全確保の観点から、立入り防止柵の設置や危険箇所(壁、天井材の落下等)の改修など、必要な範囲で手を加える。また、法令等により必要となる設備等(消防設備等)を整備する。
 1. 校舎震災遺構保存工事 構造 RC4階 延床面積 3099.80㎡
 2. 展示スペースへの来訪者のためのエレベーター設置(障害者差別解消法)、外構工事等

<事業費>(27年度)
 ・荒浜小学校校舎震災遺構保存に係る調査設計費 17,200千円
 ①設計業務委託(建築) 10,000千円
 ②設計業務委託(設備) 3,800千円
 ③地盤調査業務委託 3,400千円

<基幹事業>
 ・D-23 防災集団移転促進事業
 津波などにより甚大な被害を受け、災害危険区域を指定した地区の住民について、安全が見込まれる地域への集団移転を促進するもの

<基幹事業との関連性>
 津波の脅威を後世に伝えるとともに、津波避難施設の必要性、津波防御について学ぶことにより、防災集団移転促進事業と連携して、市民の命と暮らしを守り、津波で被災した本市東部地域の復興まちづくりに相乗効果を加えるものである。

<参考>
 H27年度 調査設計費 17,200千円
 H28年度 工事費・工事監理費 193,200千円(工事費は概算 ※今後、調査設計により精査)

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。